

清流を守ろう・川を楽しもう

仁淀川クリーン作戦に200人

5月21日 町内を流れる川をきれいにしようと、土居川、安居川などで「仁淀川クリーン作戦in仁淀川町」が行われ、地元住民やアサヒビール株式会社高知支社の社員ら約二百人が川の中や周辺のごみ拾い、草刈りなどに汗を流しました。

クリーン作戦は「仁淀川の「緑と清流」を再生する会」（奥田英雄会長）の会員や地域住民で組織する実行委員会の主催で、川遊びシーズンを前に毎年行われています。地元の小中学生も参加し、川沿いに捨てられたごみを念入りに拾っていました。

毎年少しずつごみは減っています。今年、今年は小郷川など清掃範囲を広げたこともあり、集まったごみは軽トラック四台分にもなりました。

午後からは水生生物観察会講師の石川妙子氏による水生生物調査や、NPO法人仁淀川お宝探偵団理事の城下秀二氏によるカヌー無料体験なども行われ、親子連れや小学生らが参加しました。地元の川を知り、川と触れ合うことができ、充実した一日となったようです。



小学生も熱心にごみ拾い

東西南北まわり舞台



6月12日 中央地区文化協会（森田悦男会長）主催の「第30回中央地区文化協会交流発表会～東西南北まわり舞台～」が仁淀多目的研修集会施設で開催され、約400人が会場に訪れました。

同協会は8市町村15団体から構成され、各地を回って年に一度行われる「東西南北まわり舞台」が今年30回の記念大会を迎えました。

当日は各地の文化協会に所属する個人・団体合わせて40組以上の出演があり、大勢の観客の前で民謡や詩吟、大正琴、日舞などが次々に披露され、満員の会場は華やかな空気に包まれました。

会場の外では、絵画や写真、竹細工の展示や、地場製品の販売も行われ、たくさんの方で賑わいました。

近畿仁淀川会 総会で義援金募る

仁淀川町出身者や縁故者らで組織する「近畿仁淀川会」（岡村重忠会長）の第31回総会が、5月29日に大阪市で行われました。

当日は本町からも21人が出席し、総勢112人が仁淀川町の現状や思い出話など、故郷の話に花を咲かせました。

会場では有志の呼びかけで「東日本大震災に伴う義援金」が募られ、52,039円の義援金が集まりました。

6月10日、近畿仁淀川会の岡村会長と片岡和彦副会長が来庁し、大石弘秋町長に義援金が手渡されました。

お預かりした義援金は、仁淀川町社会福祉協議会を通じて「共同募金災害義援金」高知県共同募金会に振り込みましたので、ご報告いたします。



左から片岡副会長、岡村会長、大石町長、氏次社会福祉協議会局長

近畿仁淀川会事務局

〒600-8843

京都市下京区朱雀内畑町7番地

岡崎電工㈱内

☎075-314-4156

近畿仁淀川会は、近畿圏およびその他地域に在住する仁淀川町出身者、ならびに縁故知人同窓者で組織し、親睦を図っています。お問い合わせは事務局までご連絡ください。

雨の似合う花に魅せられて…

6月12日～19日 長者の棚田で、だんだんくらぶ（中島道雄会長）主催の「第6回花しょうぶまつり」が行われました。

梅雨時のため開催期間中は雨が続きましたが、花しょうぶは心配をよそに生き生きと咲き誇り、8日間で約700人もの来場者が訪れました。

12日には、高知大生によるゲームコーナーやちびっ子腕ずもう大会などの催しがあり、地元の子どもたちが参加して大いに賑わいました。

また飲食コーナーや、地域の主婦手作りのお惣菜やお菓子などの販売もあり、訪れた人は花しょうぶや長者の自然と一緒に、買い物も楽しんで帰られました。

長者花しょうぶまつりに700人

中島会長は「今年は寒かったき花が咲くのが遅かったけど、だんだん開いて良かった。平日でも120人くらい来た日があって、驚きました」と話していました。



艶やかな花しょうぶ



☆皆さんの投稿お待ちしております

6月5日 町内各地で一斉清掃が行われ、仁淀中学校の生徒と教職員も森、川渡、長者地域の清掃に参加しました。

学校が進める「開かれた学校づくり」の一環で、生徒自ら「日ごろお世話になっている地域の方たちの役に立ちたい」と、自分の住んでいる地域に分かれて草引きなどを行いました。

当日はあいにくの雨模様。時間が経つにつれ雨脚が強くなりましたが、地域の方と一緒に心地よい汗を流しました。

（森の大石武志さんからの投稿です）

地域に感謝
中学生も一斉清掃

町建設業協会と応援協定締結

6月17日 仁淀川町と仁淀川町建設業協会（林健二会長）との間で、大規模な地震・風水害等における初期段階の支援活動を、円滑かつ効率的に実施するために応援協定が締結されました。

この協定では、情報提供や保有する資材、機材、技術者等の出動による支援体制が盛り込まれており、災害時における災害復旧・復興等防災活動への支援を受けることとなりました。

6月23日に林会長が来庁し、調印式が行われました。

大規模災害時の
支援活動を



協定書を手を左から大石町長、林会長

茶農家こだわりのお菓子できました

茶農家の女性たちで作った株式会社池川茶園の素材にこだわったお菓子が、下土居の工房と中津溪谷「ゆの森」で6月15日販売開始されました。

大切に育てたお茶と地元の天然はちみつを使用した「プレミアム茶畑プリン（かぶせ茶／ほうじ茶）」や、かぶせ茶パウダーを使用した「茶畑クッキー」など、生産者のお茶と地元に対する愛情の詰まった品が揃っています。

6月21日、山中由貴社長が役場を訪れ、大石弘秋町長に販売開始の報告と商品の紹介を行いました。大石町長は「町の素材を生かしたお菓子ができて喜ばしい。頑張ってください」と励ましました。

新スイーツで仁淀川茶PR

株式会社池川茶園では、お菓子と一緒においしいお茶を楽しめるカフェを工房に併設し、10月ごろオープンする予定です。



大石町長に商品の紹介をする山中社長



プレミアム茶畑プリン
(左)ほうじ茶、(右)かぶせ茶

発送受け付け・問い合わせ

株池川茶園 スイーツ工房（仁淀川町土居甲695-4）

☎34-3100 10時～18時（木曜定休）

ホームページ <http://ikegawachaen.jp/>

※中津溪谷「ゆの森」では、プレミアム茶畑プリンのみ店舗販売しています

※株式会社フードプラン（☎20-2442）でも発送を受け付けています

情報交換も活発に

5月12日

中央西地区食生活改善推進協議会総会・研修会が仁淀川町観光センターで開催され、約百五十人の会員が参加しました。

当協議会は土佐市・いの町・日高村・佐川町・越知町・仁淀川町の六市町村で構成され、日ごろは市町村協議会ごとに「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに、食生活の面から健康づくりを実践し、家庭と地域社会における食育活動に取り組んでいます。

総会では平成二十二年度の事業報告、決算報告、平成二十三年度の事業計画、予算などが審議されました。

引き続き行われた研修会では、中央西福祉保健所の片岡隆策所長と川村直美チーフが「東日本大震災の被災地における保健活動について」と題して、被災地の状況を写真を交えて報告されました。

万一の災害に備えるために、日ごろから地域がつながりを持ち、支え合うことが大切であること、住民組織が重要であるなどの話に、参加者は真剣に聞き入っていました。

会場では町内各地の特産品の販売も行われ、大盛況でした。また

～6市町村食生活改善推進協議会総会開催～

帰りには「中津溪谷ゆの森」に立ち寄っていたくなど、仁淀川町の魅力がPRできたとともに、会員同士が情報交換をし、交流を深め、今後の活動の活性化につながる一日となったようです。

総会に先立ち、長年、食生活改善推進員として活動されている会員に対し、中央西食生活改善推進協議会会長表彰が行われました。今回は十五～十九年間、活動を継続されている会員が対象で、四十七人の方が表彰されました。

〈本町の受賞者〉

西田美榮子・山中喜代子・吉岡紗智子・大田幸子・平野律子・大久保弘美（以上池川支部）
中川賀代・上岡利壽・金尾繁（以上吾川支部）



総会の様子